CEC6P10501000-D

TEAC

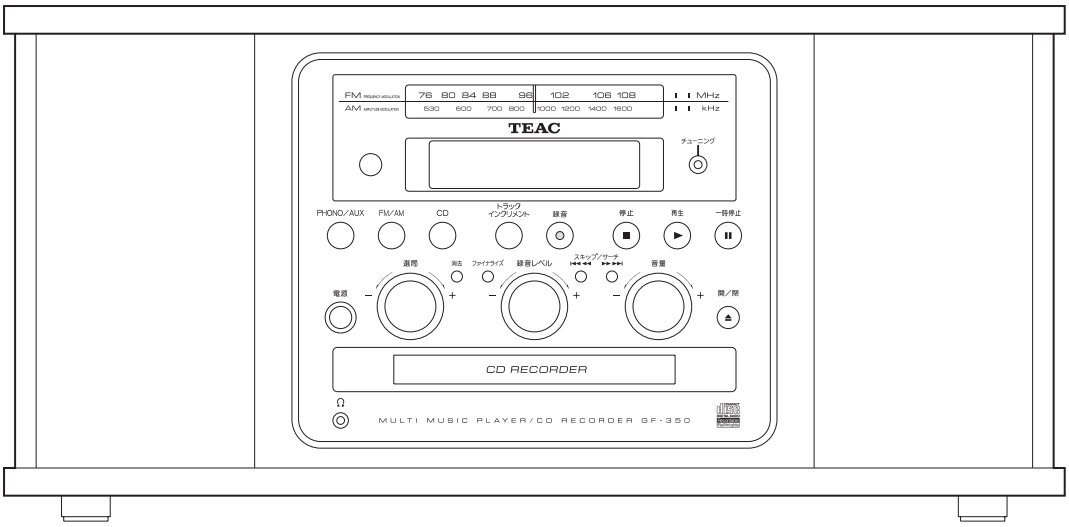
取扱説明書

GF-350

COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable ReWritable

AM/FMステレオレコードプレーヤー/CDレコーダー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目　次

準備

お使いになる前に 2
安全にお使いいただくために 3
コンパクトディスクについて 6
レコードの取り扱い 8
レコード針の交換 8
接続方法 9
リモコンの使い方 10
蓋の開閉 10
各部の名称（ターンテーブル） 11
各部の名称（本体とリモコン） 12

基本操作

基本操作 14

ラジオ

ラジオを聴くには 14

レコード

レコードを聴くには 15

CD

CDを聴くには 17
ディスプレーの表示 19
プログラム再生 20
リピート再生 22
シャッフル再生 22

録音

録音するときの注意 23
録音 24
ファイナライズ 27
CD-RWの消去とアンファイナライズ 28

その他

困ったときは 29
メッセージ一覧 30
仕様 30
保証とアフターサービス 31

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはティアック株式会社CP部にご連絡ください。

取扱説明書(保証書付き)×1
ドーナツ盤用アダプター×1
RCAオーディオケーブル×1
リモコン×1
乾電池(単3)×2

使用上の注意

- ターンテーブルの蓋の上には物を置かないでください。特に再生中は、振動でノイズが発生したり、物が落下する恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

お手入れ

表面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。**
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は約10.9kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
禁止	**電源コードを熱器具に近付けない。** コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	ディスクの挿入口に手を入れない。機器の内部に異物を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

コンパクトディスクについて

CD-RとCD-RW

CD-Rディスクには一度だけしか録音できません。録音した曲を消去することもできません。ただし、ディスクの録音可能時間が残っている場合は、追加録音することができます。録音が終わったCD-Rをファイナライズ(27ページ)すると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(ただし、一部のCDプレーヤーでは再生できないことがあります)

CD-RWディスクの場合は、録音可能時間がいっぱいになっても、録音した曲を消去すればくり返し使用することができます。ただし消去できるのは、全ての曲、または最後に録音した曲だけです。途中の曲だけを消去することはできません。

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

ファイナライズ

TOC(録音したデータの情報)をディスクに記録することをファイナライズといいます。
ファイナライズしたディスクには、録音することができません。ただしCD-RWの場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます。

(TOC：Table of Contents)

使用上の注意

音楽用の「DIGITAL AUDIO(デジタル オーディオ)」表示のあるCD、CD-RおよびCD-RWをお使いください。
(音楽用のCD-R/CD-RWの価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれています)
「DIGITAL AUDIO」表示のないコンピュータ用のCD-RおよびCD-RWに録音することはできません。

音楽用のディスク

CD

CD-R

CD-RW

コンピュータ用のディスク

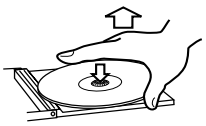
コンピュータなどを使用して記録されたコンピュータ用のCD-R/CD-RWは、音声規格に従って正しく録音されていれば再生することができますが、本機で録音/ファイナライズ/消去することはできません。

● DVD、ビデオCD、MP3のディスクなどは、本機では録音/再生できません。

● コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトデイスクの録音/再生は片面だけです)

● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



● 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

● 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。

● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

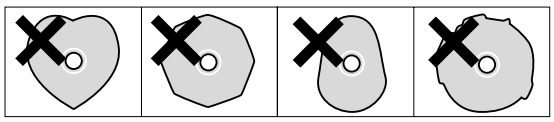
● レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● 8cmCD用のアダプターは使用しないでください。故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

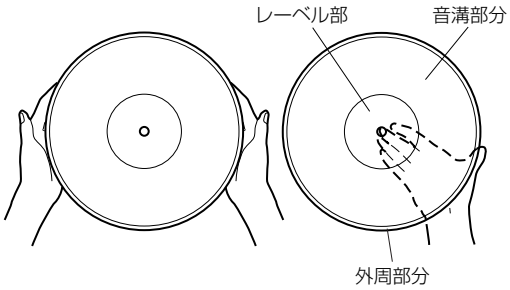


● CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

レコードの取り扱い

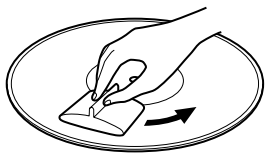
レコードの持ち方

レコードを持つ時、ケースから取り出すときは、音溝部分に手を触れないように、レーベル部と外周部分を支えて持つか、両手でレコードの外周部分を手ではさむように持ってください。



お手入れ

- 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となり、レコードや針を傷めます。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。
- レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って円を描くようにふき取ってください。



注意

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
- レコードは、何枚も積み重ねたり、重いものを載せたりしないでください。また、斜めにして長時間放置しないでください。そりや破損の原因となります。
- 音溝部は、硬いものに直接触れないようにしてください。傷の原因となります。
- 再生が終ったレコードは、必ずケースに入れて保管してください。そのまま放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったレコードは使用しないでください。
- クリーニング液以外のベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでくたさい。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

レコード針の交換

- レコード針は精密な部品ですので、針先が曲がったり破損したりしないように、丁寧に扱ってください。曲がったり破損したりすると、音溝を正確にトレースできなくなり、レコードを傷めたり、故障の原因となります。

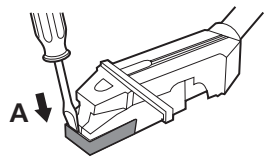
- レコード針が汚れたら、柔らかいブラシなどを使って、奥から手前側にブラシをかけてください。
  硬いものを使用したり、強くこすったりしないでください。また、ベンジン、シンナーなどで拭かないでください。劣化の原因となります。

レコード針の交換

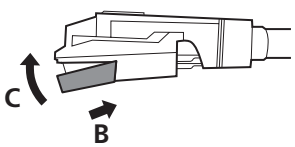
レコード針は、50時間ほど使用するとすり減って音が悪くなり、レコードを傷めます。お早めに当社指定の交換針にお取り換えください。

- 突然大きな音が出ることがありますので、機器の電源を切ってから交換してください。
- 手や機器を傷付けないよう、ご注意ください。
- 小さなお子様があやまってレコード針を飲み込まないよう、ご注意ください。

レコード針(赤い部分)を外す時は、カートリッジを手で押さえて、レコード針手前の段差部分をドライバーなどを使ってAの方向に押し下げてから、手前に引いて外してください。



新しい針を取り付ける時は、Bの方向へ差し込んで針の爪部をカートリッジの爪受けに合わせ、Cの方向へパチンとはまるまで押し上げます。



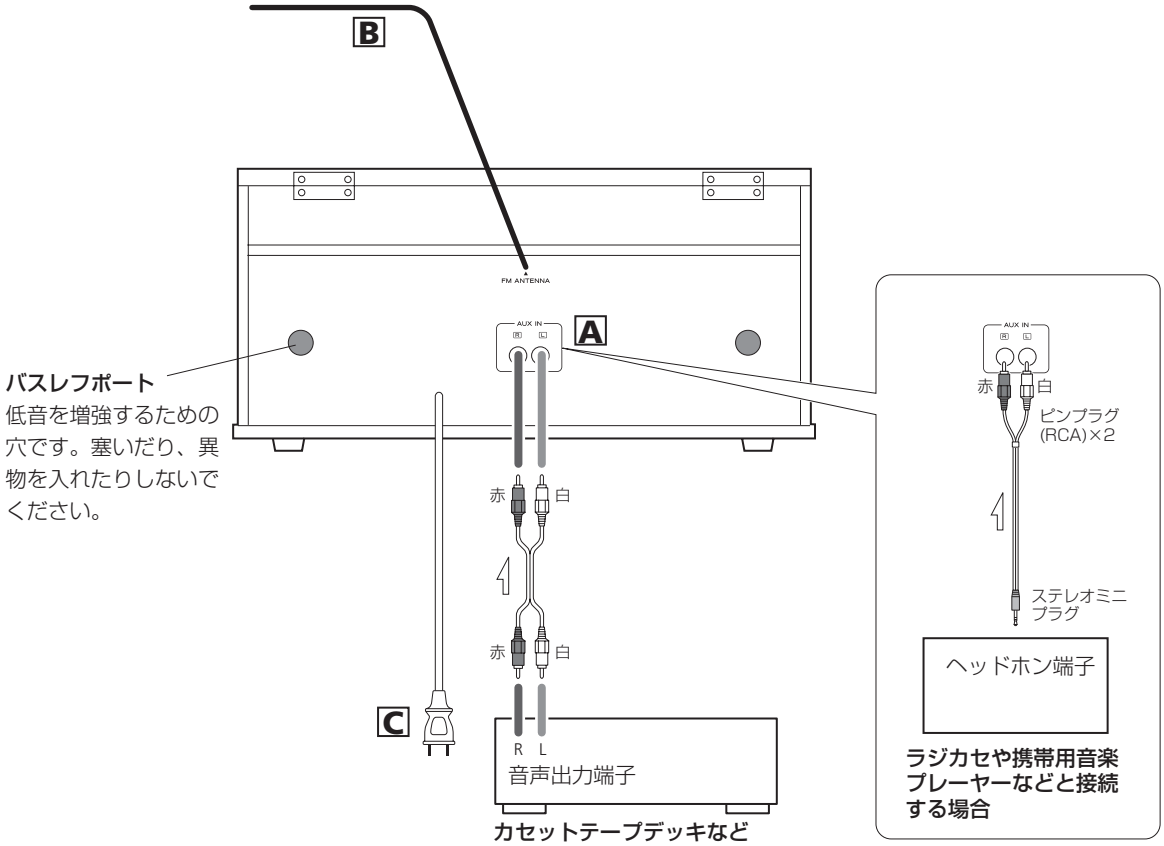
交換針(別売)：STL-103(3個入り)

交換用のレコード針については、お買い上げの販売店、またはティアック株式会社CP部(電話0422-52-5081)にご相談ください。

接続方法

⚠ 接続時の注意

● 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
● 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声入力端子 [AUX IN]

カセットテープデッキなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーで音を聴いたり、CD-R/CD-RWに録音することができます。
付属のRCAオーディオケーブルを使って、白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

ラジカセや携帯用音楽プレーヤーのヘッドホン端子と接続する場合
「片端はステレオミニプラグ、もう片端はピンプラグ×2」のオーディオケーブル(市販品)を使って接続してください。
この場合、ラジカセやプレーヤー側の音量も調節してください。ただし、ラジカセやプレーヤーの音量を上げすぎると音が歪むことがありますので注意してください。

B FMアンテナ

FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置に画鋲やテープなどで固定してください。

● アンテナは束ねないでください。

C 電源プラグ

電源プラグを交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因になります。
電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

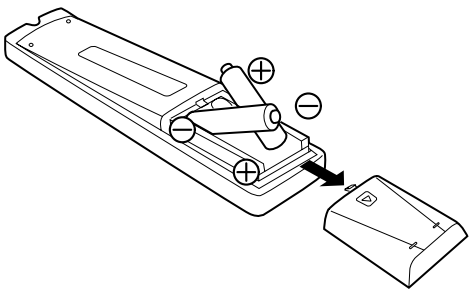
リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

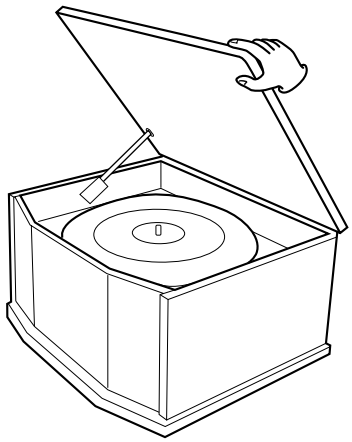
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

蓋の開閉



開けるとき

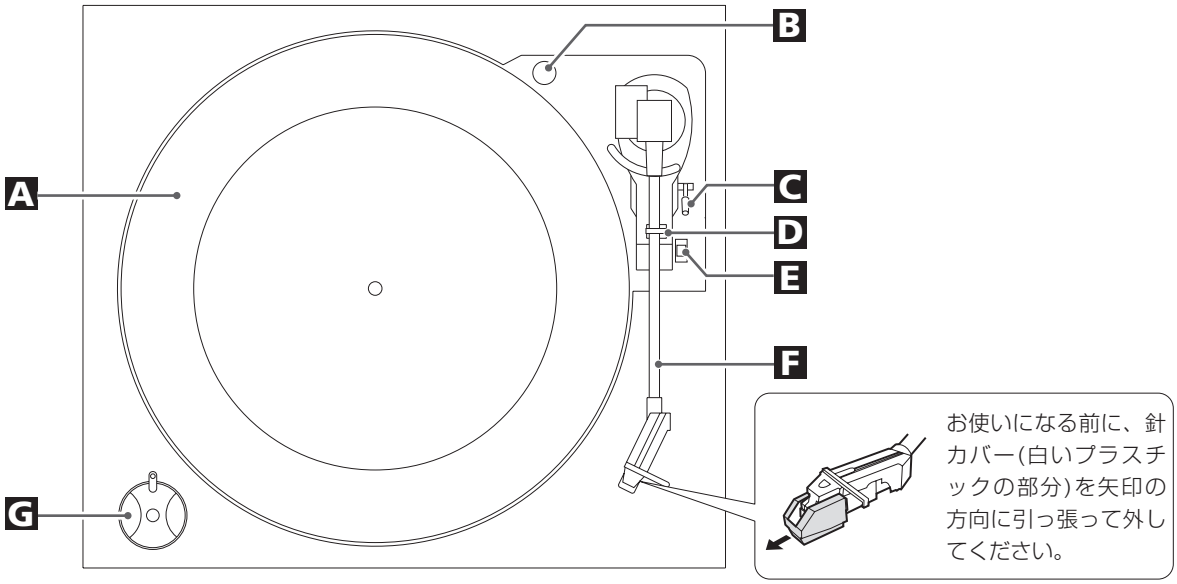
1. 蓋の端を持って、一番上まで開く。
2. 蓋をそっと下ろして、開閉金具がロックして蓋が止まったら手を離す。
   蓋が止まらなかったら、もう一度上まで開いてやり直してください。

閉めるとき

蓋を一番上まで持ち上げると、開閉金具のロックがはずれます。手で蓋の端を持ったまま、ゆっくりと閉じてください。

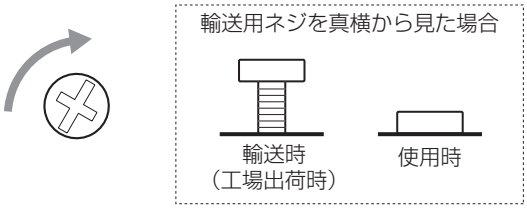
⚠ 蓋を開閉するときは、手などを挟まないようにご注意ください。

各部の名称（ターンテーブル）



A ターンテーブル
レコードをターンテーブルの中心にはめてください。

B 輸送用ネジ
お使いになる前に、輸送用のネジをコインなどを使って時計回りに止まるまで回してください。



引っ越しなどで本機を輸送するときは、ネジを反時計回りに止まるまで回して固定してください。

C キューレバー
トーンアームをレコード盤から浮かせるときに使います。

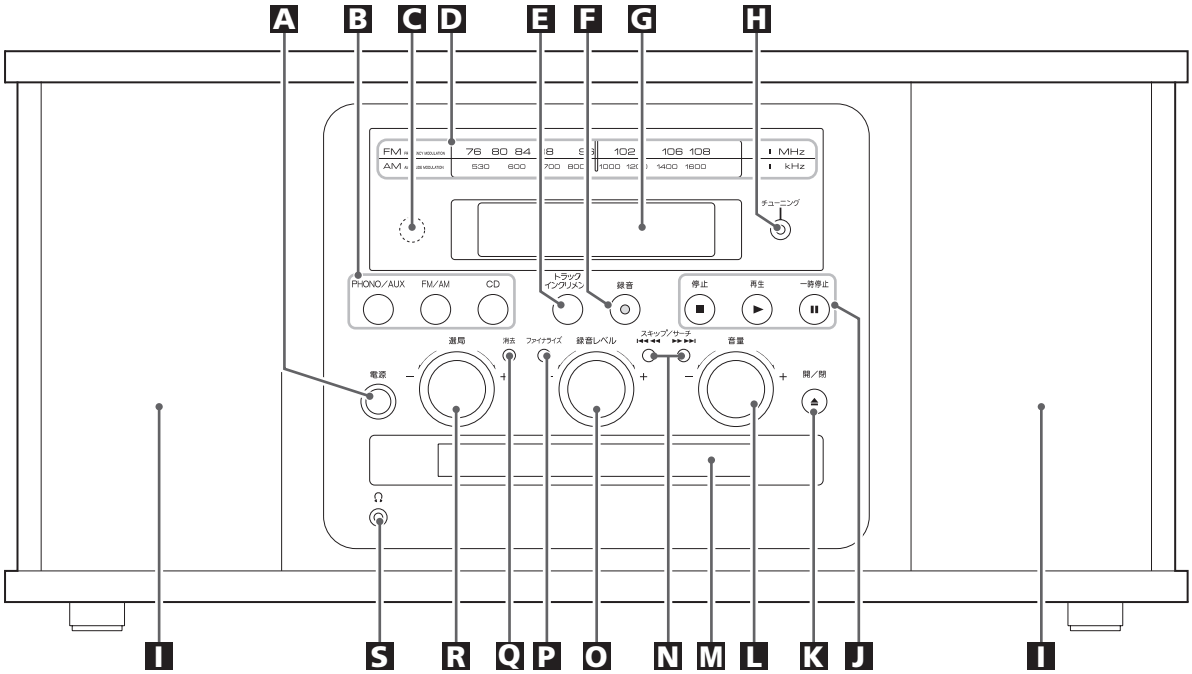
D トーンアームホルダー
トーンアームの支持台です。レコードを再生する前に、留め具を右にずらすようにしてはずしてください。

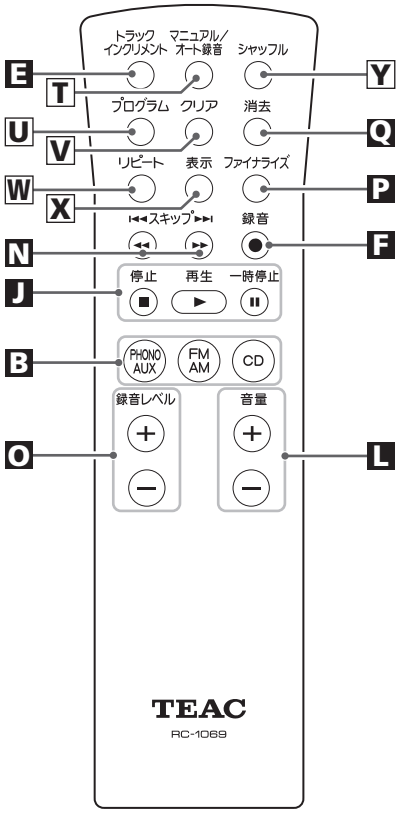
E 回転数切換スイッチ
レコードに合わせて回転数を切り換えてください。

F トーンアーム
トーンアームを内側へ動かすと、ターンテーブルが回り始めます。

G ドーナツ盤用アダプター
ドーナツ盤を再生するときにお使いください。
アダプターを固定している部品は、横にスライドさせてください。

各部の名称（本体とリモコン）





本体とリモコン

A 電源ボタン
電源のオン/オフを切り換えます。

B 機能切換ボタン（CD、FM/AM、PHONO/AUX）
CDを聴くときはCDボタンを押してください。

ラジオを聴くときはFM/AMボタンを押してください。FM/AMボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。

レコードを聴くときはPHONO/AUXボタンを押して「PHONO」を選んでください。

外部に接続した機器の音を聴くときはPHONO/AUXボタンを押して「AUX」を選んでください。

C リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

D 周波数表示
FMとAMの周波数を表示します。
電源を入れると明るくなります。

E トラックインクリメントボタン
録音中に押すと曲番を追加します。

F 録音ボタン
録音待機状態になります。

G ディスプレー
曲番などを表示します。

H チューニングインジケーター
放送局を受信したときに点灯します。

I スピーカー（ステレオ）
ここから音が出ます。
ステレオの音声もお楽しみいただけます。

J CD操作ボタン

停止(■)
再生または録音を停止します。

再生(►)
再生、録音、ファイナライズ、アンファイナライズ、または消去を開始します。

一時停止(II)
再生または録音を一時停止します。

K 開/閉ボタン
ディスクトレーを開閉します。
FM/AMモードのときは機能しません。

L 音量つまみ
音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

M ディスクトレー

N スキップ/サーチボタン
CDモードで押すと、前または後ろの曲にスキップします。CDの再生中に押したままでいると、早送り/早戻しできます。

O 録音レベルつまみ
録音待機中に、録音レベルを調節します。
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

P ファイナライズボタン
録音したCD-R/CD-RWをファイナライズします。

Q 消去ボタン
CD-RWに録音した曲を消去(またはディスクをアンファイナライズ)します。

R 選局つまみ
FM/AMボタンでFMまたはAMを選んでから、選局つまみを回して聴きたい放送局に合わせてください。

S ヘッドホン端子
ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグ(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子に差し込み、徐々に音量を調節してください。

- ヘッドホン端子の使用中は、スピーカーからは音が出ません。
- モノラルのイヤホンは使用しないでください。故障の原因になることがあります。

リモコンのみ

T マニュアル/オート録音ボタン
録音するときの曲番の付け方を切り換えます。

U プログラムボタン
CDのプログラム再生に使います。

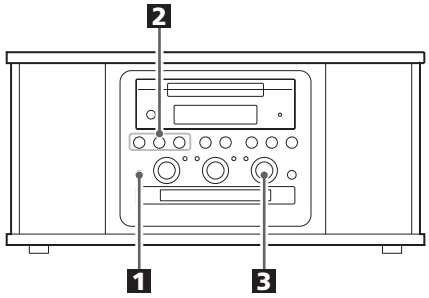
V クリアボタン
プログラムした曲を削除します。

W リピートボタン
CDをリピート再生します。

X 表示ボタン
CDモードのときに、ディスプレーの表示を切り換えます。

Y シャッフルボタン
CDをシャッフル再生します。

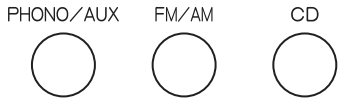
基本操作



1 電源ボタンを押して電源をオンにする。

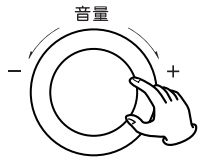
ディスプレーが点灯します。

2 機能切換ボタンを押す。



● PHONO/AUXボタンを押すたびにPHONOとAUXが切り換わります。
レコードを聴くときはPHONO、AUX端子に接続した機器の音を聴くときはAUXを選んでください。

3 音量つまみを回して音量を調節する。

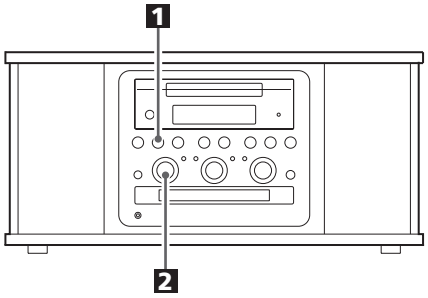


音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

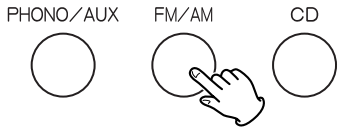
突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

● 本機を使わないときは、電源ボタンを押して電源をオフにしてください。

ラジオを聴くには

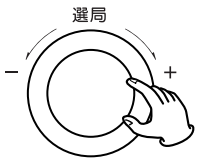


1 FM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。



FM/AMボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。

2 選局つまみを回して聴きたい放送局を探す。



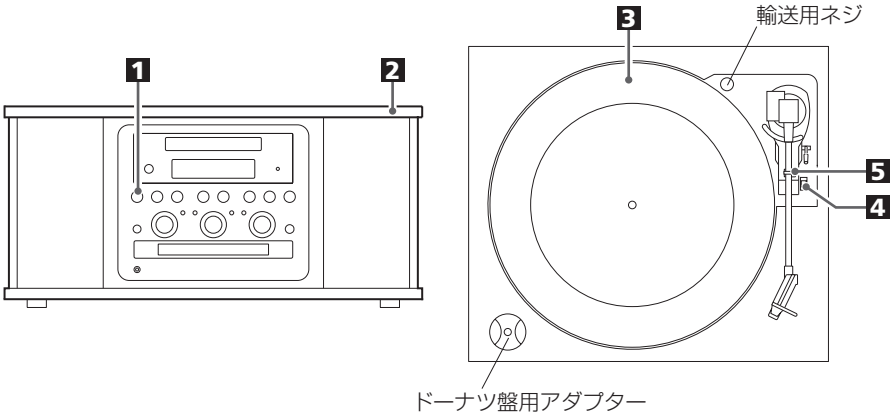
● 放送局を受信すると、チューニングインジケーターが点灯します。
● FMのステレオ放送を受信すると、ディスプレーのSTEREOインジケーターが点灯します。

受信状態が悪いときは

FM放送の受信状態が悪いときは、FMアンテナを張り直してみてください。

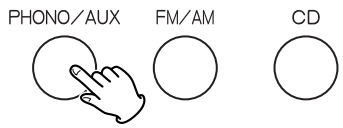
AMアンテナは本体に内蔵されています。
AM放送の受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。

レコードを聴くには



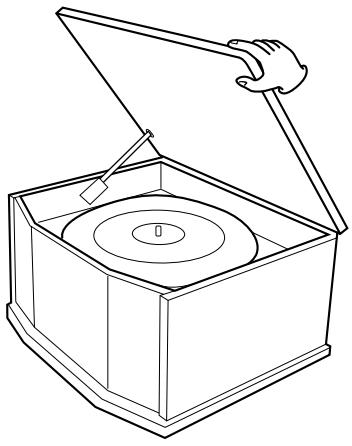
● お使いになる前に、輸送用のネジをコインなどを使って時計回りに止まるまで回してください。レコード針のカバー(白いプラスチックの部分)を外してください。(11ページ)

1 PHONO/AUXボタンを押してPHONOを選ぶ。



● PHONO/AUXボタンを押すたびに、PHONO(レコード)とAUX(外部機器)が切り換わります。

2 ゆっくりと蓋を開ける。

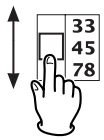


⚠蓋を開閉するときは、手などをはさまないようにご注意ください。

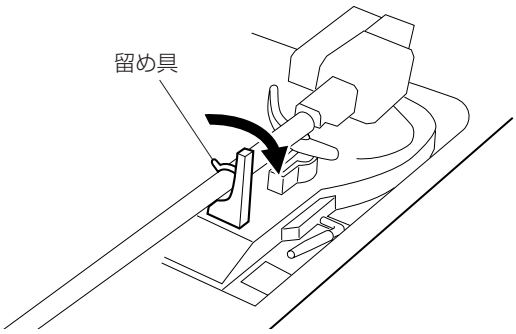
3 ターンテーブルにレコードをのせる。

17cmドーナツ盤を再生する場合には、付属のアダプターをご使用ください。

4 レコード盤に合わせて回転数を選ぶ。

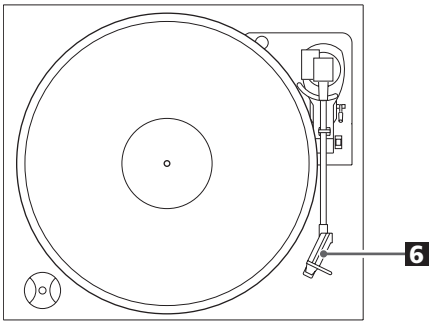


5 トーンアームの留め具を右にずらして外す。



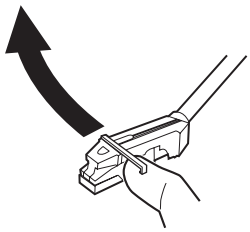
次ページに続く→

レコードを聴くには（続き）

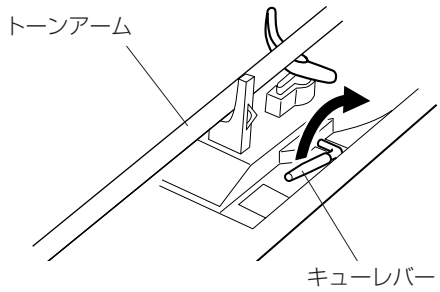


6 レコードの端、または再生したい箇所までトーンアームを移動して、ゆっくりと下ろす。

トーンアームを内側へ動かすと、ターンテーブルが回り始めます。



● キューレバーを上げて、トーンアームを浮かせた状態でレコードの上に移動してから、キューレバーをゆっくりと下げて再生を始めることもできます。



● レコードの再生中は、埃を防ぐためにターンテーブルの蓋を閉めることもできます。

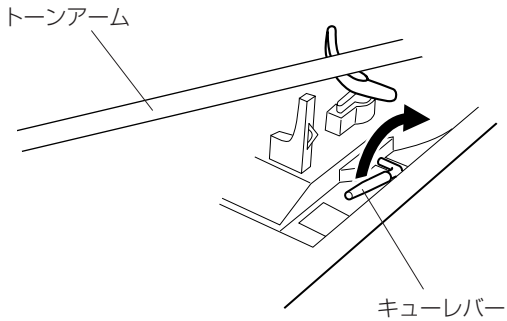
ターンテーブルの蓋の上には物を置かないでください。特に再生中は、振動でノイズが発生したり、物が落下する恐れがあります。

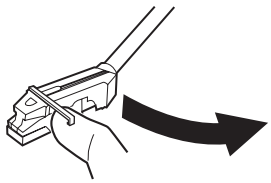
● レコードの再生時に音を大きくしすぎると、ハウリングが起こることがあります。その場合は、音量つまみを左に回して音量を下げてください。

再生が終わったら

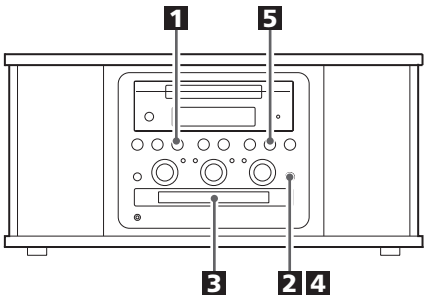
再生が終わると、トーンアームが自動的に元の位置に戻ってターンテーブルの回転が止まります(オートリターン機能)。

手動で再生を中断したいときは、キューレバーまたは指でトーンアームを持ち上げてから、トーンアームを元の位置に戻してください。

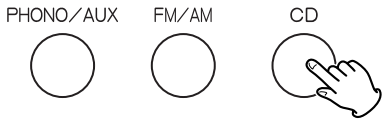




CDを聴くには



1 CDボタンを押す。

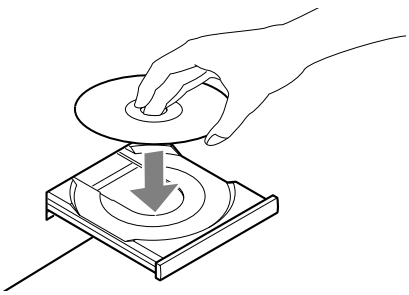


「－－」が数秒間点滅します。ディスクがセットされていないときは、「nOdISC」が表示されます。

2 開/閉ボタン(▲)を押す。

ディスクトレーが手前に出ます。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。



● ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

4 開/閉ボタン(▲)を押す。

ディスクトレーが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

● ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

● 読み込まれたディスクの種類がディスプレーに表示されます。

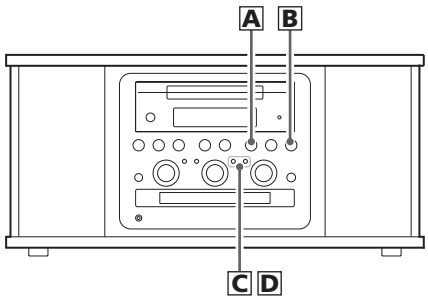
CD：
　市販の音楽用CD
CD-R：
　ファイナライズ済みのCD-R
CD-RW：
　ファイナライズ済みのCD-RW
NO TOC CD-R：
　ファイナライズされていないCD-R
NO TOC CD-RW：
　ファイナライズされていないCD-RW
表示なし：
　ディスクがセットされていない、
　または再生できないディスク

5 再生ボタン(►)を押す。

1曲目から再生が始まります。

● ディスクトレーを閉めずに再生ボタンを押した場合、自動的にトレーを閉めて再生を始めます。

CDを聴くには（続き）



A 再生を一時停止するには

一時停止ボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止します。
一時停止ボタン(❚❚)または再生ボタン(►)を押すと、再び再生を始めます。

B 再生を停止するには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

C 聴きたい部分を探すには（サーチ）

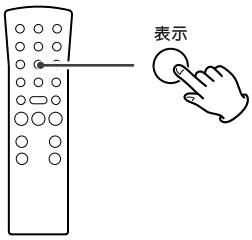
再生中にスキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

D 好きな曲から再生するには（スキップ）

再生中にスキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

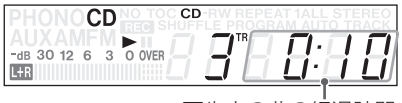
- 再生中は、I◄◄ ◄◄を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄ ◄◄を続けて押してください。
- 停止中は、スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)で選曲したあと、再生ボタン(►)を押して再生を始めてください。

ディスプレーの表示

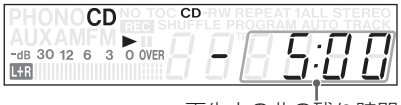


CDの再生中、録音中または録音待機中にリモコンの表示ボタンを押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。

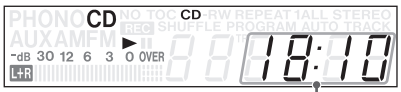
CD/CD-R/CD-RW（再生中）



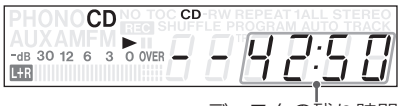
再生中の曲の経過時間



再生中の曲の残り時間

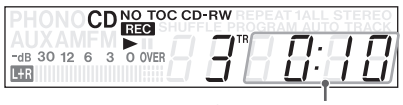


ディスクの経過時間

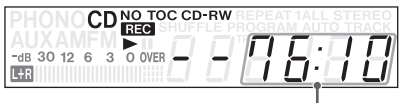


ディスクの残り時間

録音中

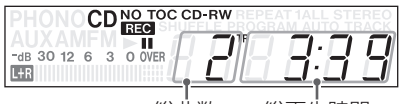


録音中の曲の経過時間

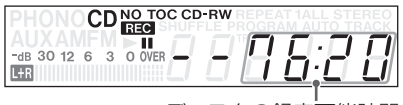


ディスクの録音可能時間

録音待機中



総曲数　総再生時間



ディスクの録音可能時間

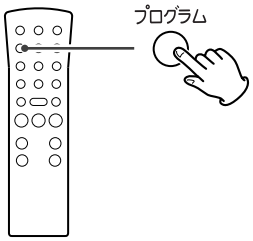
CD

プログラム再生

32曲までプログラムできます。

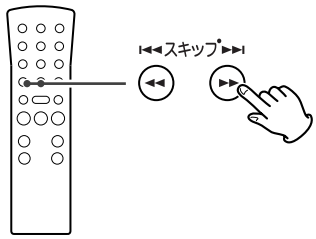
- プログラムする前に、CDボタンを押してディスクをセットしておいてください。
- プログラム再生中はシャッフル再生できません。
- ファイナライズされていないディスクは、プログラム再生できません。

1 停止中にプログラムボタンを押す。



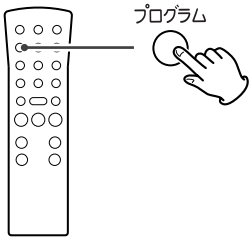
プログラムインジケーター(PROGRAM)が点滅し、「P-01」(最初のプログラム番号)が表示されます。

2 スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を使って、プログラムする曲を選ぶ。



曲番

3 プログラムボタンを押す。



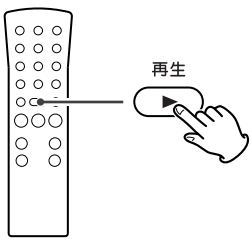
選んだ曲がプログラムされて、「P-02」(次のプログラム番号)が表示されます。

複数の曲をプログラムするときは、**2**と**3**をくり返してください。

- 32曲までプログラムできます。
- プログラムを中止したいときは、停止ボタンを押してください。
- そのディスクに存在しない番号はプログラムできません。

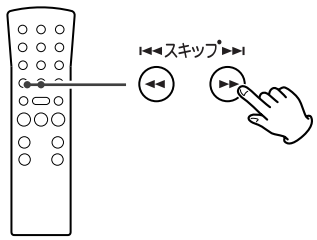
4 プログラムが終わったら、再生ボタン(►)を押す。

プログラム再生が始まります。



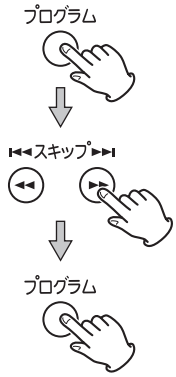
プログラムした内容を確認するには

停止中にスキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)をくり返し押すと、プログラムされた曲番が順番に表示されます。



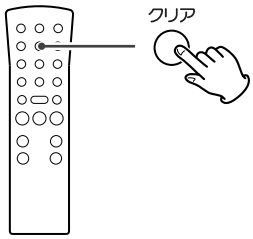
プログラムの最後に曲を追加するには

停止中にプログラムボタンを押してから、スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)で曲を選び、もう一度プログラムボタンを押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。



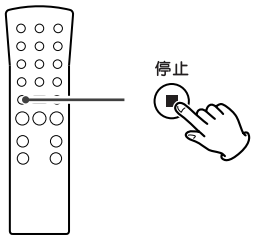
プログラムの最後の曲を削除するには

停止中にクリアボタンを押すと、プログラムの最後の曲が削除されます。



全てのプログラム内容を消去するには

停止中に停止ボタン(■)を押すと、プログラム内容は消去されます。

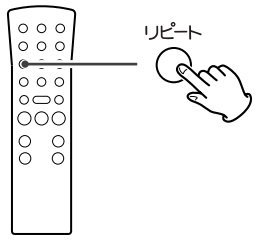


以下のボタンを押した場合も、プログラム内容は消去されます。

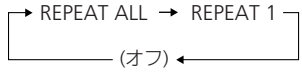
開/閉ボタン
電源ボタン
FM/AMボタン
PHONO/AUXボタン

CD

リピート再生



リピートボタンを押すたびに、リピート再生のモードが変わります。



REPEAT ALL（全曲リピート）

再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

REPEAT 1（1曲リピート）

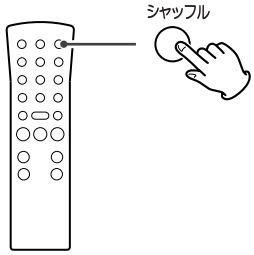
再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中にスキップ/サーチボタンを押して他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

停止中は、リピートボタンを2回押してからスキップ/サーチボタンで曲を選び、再生ボタンを押すと、1曲リピート再生を始めます。

● ファイナライズされていないディスクは、リピート再生できません。

● 以下のボタンを押すとリピート再生は解除されます。
開/閉ボタン
電源ボタン
FM/AMボタン
PHONO/AUXボタン

シャッフル再生



再生中にシャッフルボタンを押すと、ディスクの全曲をランダムに再生します。
停止中は、シャッフルボタンを押してから再生ボタンを押してください。

全曲のシャッフル再生が終わると、シャッフル再生モードを解除して、再生を停止します。

● シャッフル再生中に►► ►►Iボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ◄◄ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。

● プログラム再生中はシャッフル再生できません。

● ファイナライズされていないディスクは、シャッフル再生できません。

● 以下のボタンを押すとシャッフル再生は解除されます。
開/閉ボタン
電源ボタン
FM/AMボタン
PHONO/AUXボタン
停止中にシャッフルボタンを押した場合

録音するときの注意

- 本機で録音するときは、音楽用の「DIGITAL AUDIO(デジタル オーディオ)」表示のあるCD-RまたはCD-RWをお使いください。
  コンピュータ用のCD-R/CD-RWに録音することはできません。(6ページ)

- CDの規格により、99曲までしか録音できません。また、4秒以下の曲は録音できません。

- 録音を停止すると、「REC」と「- - - - - - 」が数秒間点滅します。録音中および「REC」と「- - - - - - 」の点滅中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

- 録音を開始してから4秒以内に停止ボタン(■)または一時停止ボタン(❚❚)を押した場合は、4秒になってから停止します。その間は無音録音状態になります。

- 録音の途中でディスクが99曲になった場合は、自動的にファイナライズしてから停止します。

- 録音の途中でディスクの録音可能時間が0になった場合は、フェードアウトしたあと自動的にファイナライズして、停止します。

- 途中まで録音してあるディスクを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。

- 録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。

- ファイナライズ済みのCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。(28ページ)

- オートトラック機能を使う場合、本機は設定したレベルに従って曲を区切ります。そのため、冒頭や曲間に無音部分のあるソースを録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。

CD-RとCD-RW

CD-Rディスクには一度だけしか録音できません。録音した曲を消去することもできません。ただし、ディスクの録音可能時間が残っている場合は、追加録音することができます。録音が終わったCD-Rをファイナライズ(27ページ)すると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(ただし、一部のCDプレーヤーでは再生できないことがあります)

CD-RWディスクの場合は、録音可能時間がいっぱいになっても、録音した曲を消去すればくり返し使用することができます。ただし消去できるのは、全ての曲、または最後に録音した曲だけです。途中の曲だけを消去することはできません。

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

ファイナライズ

TOC(録音したデータの情報)をディスクに記録することをファイナライズといいます。
ファイナライズしたディスクには、録音することができません。ただしCD-RWの場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます。

(TOC：Table of Contents)

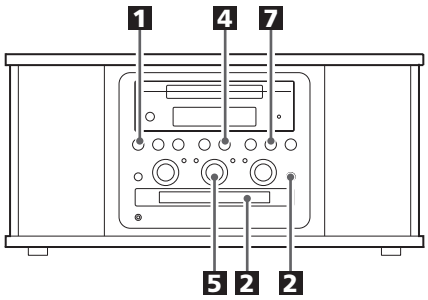
デジタル録音するときのルール

シリアルコピーマネージメントシステム

本機は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音すること(コピー)」を「1世代まで」と規制したものです。以下の原則があります。

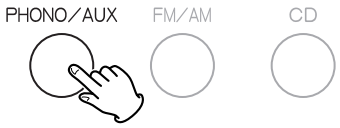
「CD、MDなど市販のデジタル音楽ソフト」や、「アナログレコードやFM放送などをデジタル録音したもの」のコピーはできますが、コピーのコピーはできません。

録　音



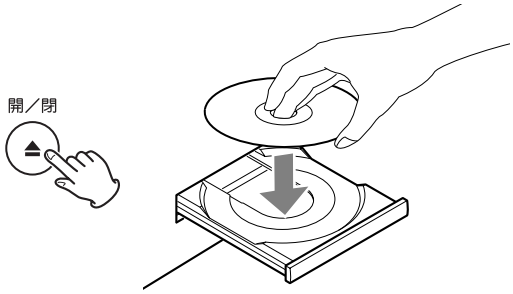
PHONO(レコード)またはAUXの音をCD-RまたはCD-RWに録音することができます。
本機のラジオやCDの音を録音することはできません。

1 PHONO/AUXボタンを1、2回押して録音するソースを選ぶ。



レコードを録音する場合はPHONO、AUX端子に接続した機器の音を録音する場合はAUXを選んでください。

2 録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。

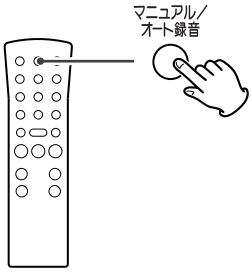


開/閉ボタン(▲)を押すとディスクトレーが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせてから、開/閉ボタン(▲)を押してトレーを閉めてください。

ディスプレーの「NO TOC」と「CD-R(またはCD-RW)」インジケーターが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は録音できません。

● コンピュータ用のCD-R/CD-RWに録音することはできません。必ず音楽用の「DIGITAL AUDIO」表示のあるCD-R/CD-RWをお使いください。

3 リモコンのマニュアル/オート録音ボタンを使って、曲番の付け方を選ぶ。



マニュアル/オート録音ボタンを1回押すと、現在の設定が表示されます。他の設定を選ぶ場合は、マニュアル/オート録音ボタンをくり返し押してください。

－－（マニュアル）
曲番を付けません。レコードやカセットテープなど、アナログのソースを録音する場合はこちらを選んでください。
録音中に、曲番を付けたいところでトラックインクリメントボタンを押すと、曲番を付けることができます。

－20db、－30db、または－40db（オートトラック）
録音中に自動的に曲番を付けます。
入力信号が2秒以上続けて無音状態(－20dB、－30dB、または－40dB以下)になったあとに次の曲が始まった場合に、自動的に曲番を更新します。

雑音のあるソースを録音する場合は－20dB(またはマニュアル)、CDなど雑音のないソースを録音するときは－40dBを選んでください。

小さな音から始まる曲に曲番を付けるときに、－20dBだと曲の頭が欠けてしまう場合は、－30dBまたは－40dBに設定してみてください。

● －20dB、－30dB、または－40dBを選ぶと、AUTO TRACKインジケーターが点灯します。

● 雑音が多くてオートトラックがうまく機能しない場合は、マニュアルを選んでください。

● 電源ボタンを押すと、設定は「マニュアル」にリセットされます。

● 録音中または録音待機中は、マニュアル/オート録音ボタンを押しても機能しません。

4 録音ボタンを押す。

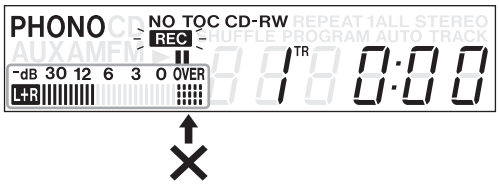
録音ボタンの中心が赤く点灯します。
録音待機状態になり、ディスプレーの「REC」が点滅、「❚❚」が点灯します。

● 録音ボタンを押したあと、「busy」の表示中は他のボタンを押しても機能しません。「busy」が消えるまでお待ちください。

● 録音ボタンが赤く点灯しない場合は、**2**に戻って録音可能なディスクに交換してください。
「d dISC(コンピュータ用のCD-R/CD-RWに録音することはできません)」などのエラーメッセージ(30ページ)が表示された場合も、**2**に戻って録音可能なディスクに交換してください。

5 もし必要なら、録音レベルつまみを回して録音レベルを調節する。

電源をオンにしたときの録音レベルは0dBです。通常は、録音レベルを調節しなくても録音できます。



録音するソースの音を出し、録音レベルつまみを回して、音が最も大きいときにピークレベルメーターの「OVER」が点灯しないように調節してください。
「OVER」が点灯すると、音が歪んでしまいます。

録音レベルは、以下の範囲で調節できます。録音レベルつまみを右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

最小 −00(−∞) ← −60dB ← 小 **0dB** 大 → 18dB 最大

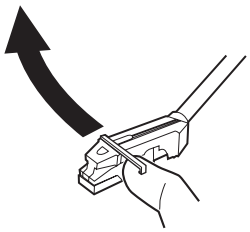
● 電源ボタンや停止ボタンを押すと、録音レベルは0dBにリセットされます。

● 録音するソース(レコード、カセットテープ、CDなど)によっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

ラジカセや携帯用音楽プレーヤーのヘッドホン端子と本機のAUX端子を接続した場合

本機の録音レベルは0dBにしておいて、ラジカセや携帯用音楽プレーヤー側の音量を調節してください。
携帯用音楽プレーヤーなどの音量を最大にしても、録音レベルが低い場合は、ピークレベルメーターを見ながら本機の録音レベルつまみを少しずつ右に回して調節してください。

6 **1**でPHONOを選んだ場合は、レコードの端、または録音したい箇所までトーンアームを移動して、ゆっくりと下ろす。



トーンアームを内側へ動かすと、ターンテーブルが回り始めます。
ターンテーブルが止まった状態だと、**7**で再生ボタン(►)や一時停止ボタン(❚❚)を押しても録音できません。

7 再生ボタン(►)または一時停止ボタン(❚❚)を押して録音を始める。

次ページに続く→

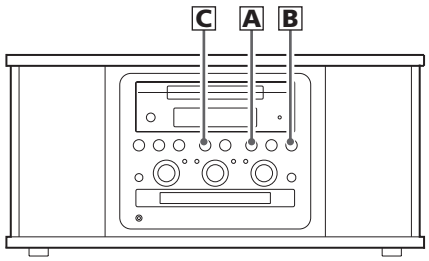
録　音（続き）

8 1でAUXを選んだ場合は、AUX端子に接続した機器の再生を始める。

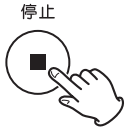
録音するソースの再生が終わったら、停止ボタン(■)を押して録音を停止してください。

レコードの再生が終わってターンテーブルの回転が止まると、録音も自動的に停止しますが、トーンアームの動作音など余計な雑音を録音しないために、レコードの再生が終わり次第、停止ボタン(■)を押して録音を停止してください。

録音を停止すると、「REC」と「－－－－－－」が数秒間点滅します。録音中および「REC」と「－－－－－－」の点滅中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。



A 録音を停止するには



停止ボタン(■)を押すと録音が停止します。

- 録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(27ページ)

B 録音を一時停止するには

一時停止ボタン(❚❚)を押すと、録音が一時停止します。一時停止ボタン(❚❚)または再生ボタン(►)を押すと、録音を再開します。

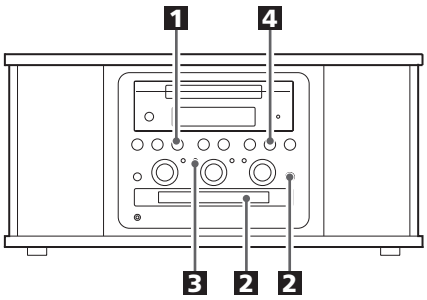
- 「busy」の表示中は録音を再開できません。
- 録音を一時停止または停止するたびに、新しい曲番が付きます。

C 録音中に手動で曲番を付けるには

録音中にトラックインクリメントボタンを押すと、曲番を付けることができます。

- トラックインクリメントボタンは、マニュアル/オート録音の設定(24ページ)に関係なく使えます。
- マニュアル録音(24ページ)で曲番を付けたいときは、曲と曲の切れ目が来るたびにトラックインクリメントボタンを押してください。

ファイナライズ



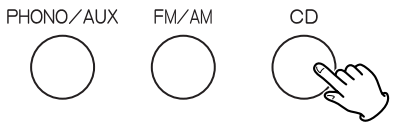
TOC(録音したデータの情報)をディスクに記録することをファイナライズといいます。

CD-Rをファイナライズすると、通常のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズされたCD-Rにはそれ以上録音することができません。

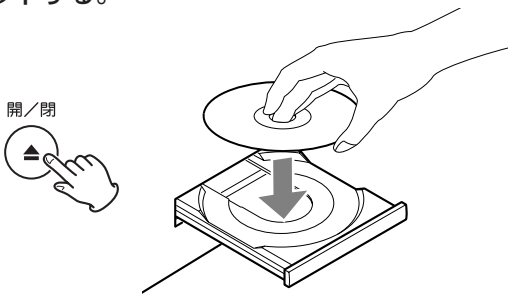
CD-RWをファイナライズすると、CD-RW対応のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズ済みのCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください(28ページ)

- 何も録音されていないディスクはファイナライズできません。
- 録音の途中で録音可能時間が0になったディスクは自動的にファイナライズされます。ファイナライズ済みのディスクをさらにファイナライズすることはできません。

1 CDボタンを押す。



2 ファイナライズされていないディスクをセットする。



3 ファイナライズボタンを押す。

「Fin--d」が表示されます。

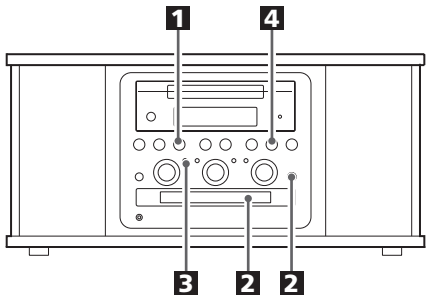
- ファイナライズボタンは停止中にしか使えません。
- 中断したい場合は停止ボタン(■)を押してください。

4 再生ボタン(►)を押す。

ファイナライズが始まります。
「NO TOC」と「REC」が点滅し、所要時間がディスプレーに表示されます。
ファイナライズが完了すると、「NO TOC」が消えて通常の表示(総曲数と総再生時間)に戻ります。

- ファイナライズ中は、電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。
- ファイナライズ中は、ボタンを押しても機能しません。

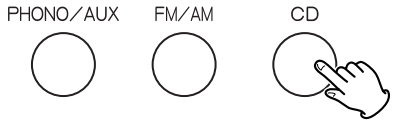
CD-RWの消去とアンファイナライズ



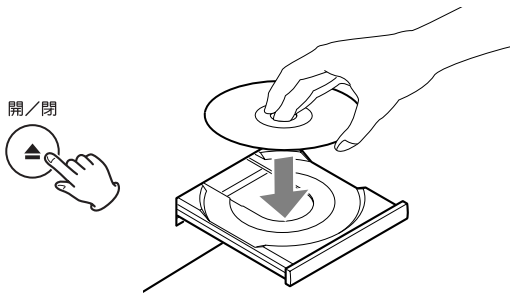
CD-RWの「全ての曲」または「最後の曲」を消去することができます。
途中に収録された曲だけを消去することはできません。

ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいとき、または曲を消去したいときは、まずアンファイナライズしてください。

1 CDボタンを押す。



2 CD-RWをセットする。



3 消去ボタンを押す。

ファイナライズ済みのディスクをセットした場合は、「Un FIn (unfinalize)」が表示されます。

ファイナライズされていないディスクをセットした場合は、「Er (erase)」と最後の曲番が表示されます。
消去ボタンを押すたびに、ディスプレーの表示が変わります。

「Er」と最後の曲番
最後の曲だけを消去します。
ディスクに1曲しか録音されていない場合は、表示されません。

「Er ALL」
全ての曲を消去します。

- 消去ボタンは停止中にしか使えません。
- 中断したい場合は停止ボタン(■)を押してください。

4 再生ボタン(►)を押す。

消去またはアンファイナライズが始まります。
所要時間がディスプレーに表示されます。
消去またはアンファイナライズが完了すると、通常の表示(総曲数と総再生時間)に戻ります。

- 消去/アンファイナライズ中は、電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。
- 消去/アンファイナライズ中は、ボタンを押しても機能しません。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。
➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源ボタンを押して電源をオンにしてください。
(9、14ページ)

音がしない。
➔ 音量つまみを右に回して音量を調節してください。

リモコンで操作できない。
➔ 本体の電源ボタンを押して電源をオンにしてください。
➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

テレビなどが誤動作する。
➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は、本機のリモコンを操作する間は他の機器の電源を切ってください。

雑音がする。
➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

CDレコーダー

再生できない。
➔ ディスクをトレーの中心に正しくセットしてください。
➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➔ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➔ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

音飛びがする。
➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➔ 傷が付いたディスクは使わないでください。

録音できない。
➔ 音楽用のCD-R/CD-RWを使ってください。
➔ ファイナライズ済みのCD-Rには録音できません。ディスクを交換してください。
➔ CD-Rの録音残り時間が足りない場合は、ディスクを交換してください。
➔ ファイナライズ済みのCD-RWには録音できません。アンファイナライズするか、ディスクを交換してください。
➔ CD-RWの録音残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかディスクを交換してください。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。
➔ 選局つまみを回して放送を受信してください。
➔ FM放送の受信状態が悪いときは、FMアンテナを張り直してみてください。
AM放送の受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。

レコード

再生できない。雑音が入る。
➔ レコード針のカバー(白いプラスチックの部分)を外してください。
➔ レコード針が汚れていたら、柔らかいブラシなどを使って、奥から手前側にブラシをかけてください。
➔ レコード針が摩耗していたら、交換してください。

音程がおかしい。
➔ レコードにあった回転速度を選んでください。

音飛びがする。
➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➔ レコードが汚れている場合は、レコードを拭いてください。
➔ 傷が付いたレコードは使わないでください。
➔ 輸送用のネジをコインなどを使って時計回りに止まるまで回してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

メッセージ一覧

0TR 0:00
何も録音されていないCD-R/CD-RWがセットされたときに表示します。

BUSY
ディスクを読み込み中です。しばらくお待ちください。

CLOSE
ディスクトレーを閉めます。

Er＋最後の曲番
CD-RWの最後の曲を消去します。

Er ALL
CD-RWの全ての曲を消去します。

FIN - - d
ファイナライズします。

−40db、−30db、または−20db、
オートトラックの設定値です。

NODISC
ディスクがありません。

OPEN
ディスクトレーを開きます。

- - - -:- -
ディスクを読み込み中です。

P-数字
プログラム番号

UN FIN
CD-RWをアンファイナライズします。

エラーメッセージ

D FULL, OPFULL
ディスクがいっぱいです。これ以上録音できません。

D DISC
コンピュータ用のCD-R/CD-RWに録音することはできません。
本機で録音するときは、音楽用の「DIGITAL AUDIO」表示のあるCD-RまたはCD-RWをお使いください。

P-FULL
プログラムがいっぱいです。これ以上はプログラムできません。

Err＋数字
エラーが起きました。電源ボタンを押して電源をオフにし、約1分経ってからオンにしてください。

Err 03
ディスクに問題があります。電源を一旦オフにしてからオンにして、ディスクを交換してください。

仕　様

アンプ部

出力 . . . . . 3.5W + 3.5W
周波数特性 . . . . . 60Hz〜20kHz
入力感度/インピーダンス. AUX： −6dBV(0.5V)/20kΩ
最大入力レベル . . . . . AUX：+6dBV(2.0V)

CDレコーダー部

再生可能ディスク . . . . . CD、CD-R、CD-RW
録音可能ディスク . . . . . 音楽用のCD-RとCD-RW
録音サンプリング周波数 44.1kHz
周波数特性. . . . . 20Hz〜20kHz
(再生時：±2dB、録音時：±3dB)
S/N比 . . . . . 90dB以上(再生時)、80dB以上(録音時)
歪率 . . . . . 0.05%以下(再生時)、0.07%以下(録音時)

チューナー部

受信周波数(FM) . . . . . 76MHz 〜108MHz
受信周波数(AM) . . . . . 530kHz〜1,630kHz

レコードプレーヤー部

モーター . . . . . DCサーボモーター
ドライブ方式 . . . . . ベルトドライブ
ターンテーブルスピード. . . . . 33 1/3、45、78
ワウ・フラッター . . . . . 0.35%以下(WDT)
S/N比 50dB以上
カートリッジ . . . . . セラミックステレオタイプ
レコード針 STL-103
出力レベル . . . . . 158〜348mV/秒、1kHz

スピーカー部

ユニット 76mm
インピーダンス 4Ω

一般

電源. . . . . 100V AC、50-60Hz
消費電力. 20W
外形寸法(幅、高さ、奥行). . . . . 480 x 230 x 380 mm
電源コードの長さ 1.6m
質量 10.9kg
動作保証温度 . . . . . 5℃〜35℃

付属品

取扱説明書(保証書付き)×1
ドーナツ盤用アダプター×1
RCAオーディオケーブル×1
リモコン×1
乾電池(単3)×2

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

29ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：GF-350
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
ナビダイヤル 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

この製品については、CP部にお問い合わせください。受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5081 / FAX：0422-52-6783

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0307·MA-1004D